

12月の振り返り

11日に芸術鑑賞会を実施しました。今年度は演劇鑑賞の年となっており、劇団自由人会「カーリーの青春」を綾瀬市オーエンス文化会館で観ました。

学校の外に出て、いつもと違う世界観を全校生徒で過ごし、一体感や空気感を味わえる時間でした。「カーリーの青春」については、選定して頂いたPTAの学年委員の皆様感謝した素晴らしいもので、文化・芸術に親しむ時間でした。



19日～20日で球技大会が行われました。両日とも雨は降りませんでしたので、競技を変更することなく予定通りにできました。体育館の2階やグラウンドへの階段等からの声援に、クラスが盛り上がり結束を強めていました。実行委員が主体となって役割を自覚しながら運営して、全校生徒は運動に親しみ、体力の向上に資する行事となりました。

23日は冬休み前集会で令和6年を締めくくりました。体育館に3学年全体が揃うのは今回が最後となりますので、寒かったのですが、生徒たちは頑張っている姿が印象的でした。

私からの話の概要は大きく2点となります。

12月12日に発表された今年の世相を表す一文字は「金」です。私自身の一年を振り返ると、一文字は「挑」です。挑戦するという意味を持つこの一文字は、私たちにとって重要な要素です。挑戦することは、自分の成長や新たな発見をもたらす、可能性を広げることが出来ます。高校生の皆さんに伝えたいのは、綾高には支えてくれる教職員、仲間がいます。ぜひ、前向きに一歩踏み出して、チャレンジをして欲しいと思います。新たな年が始まる前に、自分自身の目標や夢を明確にし、挑戦する覚悟を持ちましょう。皆さんの挑戦と成長を心から応援しています。

次に物事の見え方についてです。私たちは日常生活の中で、さまざまな出来事や状況に置かれることがあります。それらをどのように見るかによって、感じ方や解釈が異なることがあります。人それぞれが異なる視点や経験を持っているため、同じ出来事でも異なる解釈が

生まれることは自然なことです。大切なことは、他人の見方や意見を尊重し、理解することです。他人の意見や見方を受け入れ、対話を通じてお互いを理解し合うことが重要です。そして、時には自分自身の見方や意見も柔軟に変えることも必要です。新たな情報や経験を得ることは、自分自身の見方や考え方を見直して成長につながります。

12月は、他にも職員の授業見学週間、1学年進路講演会、学校説明会、学校見学等々を行いました。生徒のためによりよい学校を作っていきたいと思っています。

